ユーシン 景況レポート

Number.128
（2026.4～6月期）

結城信用金庫

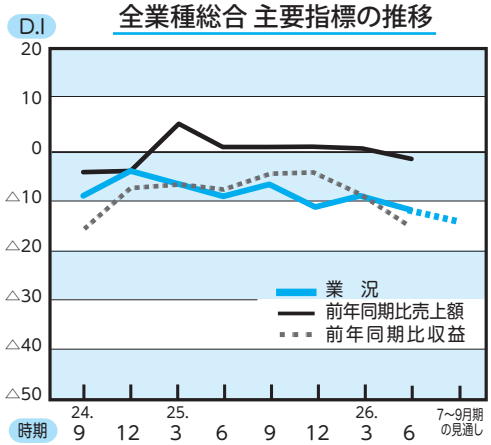
■このレポートは、当金庫のお客様231企業（回答企業230企業）について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果のあらまし

概況（4月▶6月期） 業況は製造業、建設業で改善

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.Iは△11.8と、1月～3月期（前期）の調査より△2.7ポイント低下し、景況感は悪化しました。業種別では、製造業で前期比＋2.8ポイント、建設業で同比＋5.6ポイントの改善となりましたが、卸売業で同比△18.8ポイント、小売業で同比△2.7ポイント、サービス業で同比△9.8ポイントの低下となりました。項目別では、売上額判断D.Iが△4.4で対前期比△3.5ポイント、収益判断D.Iは△9.2で同比△4.4ポイントと、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△1.3で前期比△2.2ポイント、同収益判断D.Iが△14.3で同比△5.1ポイントとなり、ともに低下しました。

全業種総合 主要指標の推移



雇用面では、人手過不足判断D.Iが△15.3で前期比＋3.0ポイントとなり、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは1.3となり、前期比横ばいとなりました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比＋0.5ポイントの増加となりました。借入難易度については容易と回答した事業者の割合は、前期と比べて減少しました。経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が33.2%、「原材料高」が27.1%、「売上の停滞・減少」が24.0%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「中小企業における価格転嫁について」では、貴社では、ここ数年（2020年ごろから）の原材料・仕入価格の上昇分をどの程度販売価格に転嫁できていますか、との質問に対し、0～20%程度転嫁できていると回答した事業者が32.2%と最も多い結果となりました。

◎業況判断D.I＝「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標　◎特別調査の詳細は8～9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し（7月▶9月期） 業況の見通し判断D.Iは△13.1、当期実績比△1.3ポイント低下の見込

来期は、卸売業、建設業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△0.8ポイント、収益判断D.Iが同比△3.0ポイントと、ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△1.4ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比＋0.9ポイント改善の見込み、残業時間判断D.Iについては同比△0.5ポイント低下の見込みとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が55.5%、「販路を広げる」が35.4%、「人材を確保する」が23.1%と上位に挙げられました。

景況天気図

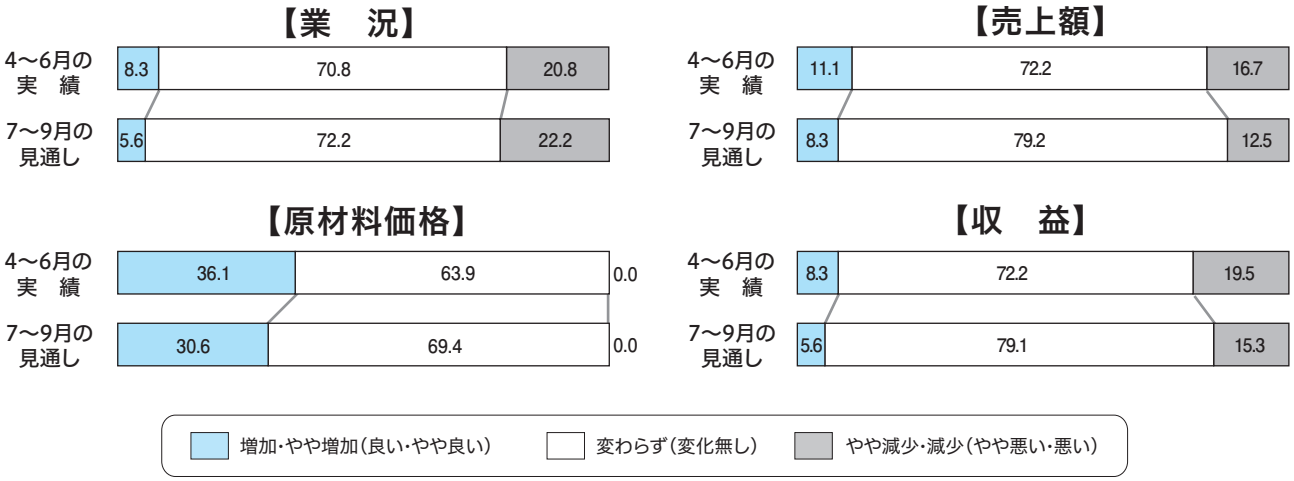
〔この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました〕

業種名＼時期	8年1月～3月	8年4月～6月	8年7月～9月見通し	概要
総合	↘	↘		業況判断D.Iは、△2.7ポイント低下し△11.8。来期は、△1.3ポイント低下し△13.1の見通し。
製造業	↗	↘		業況判断D.Iは、+2.8ポイント改善し△12.5。来期は、△4.1ポイント低下し△16.6の見通し。
卸売業	↘	↗		業況判断D.Iは、△18.8ポイント低下し△25.0。来期は、+3.1ポイント改善し△21.9の見通し。
小売業	↘	↘		業況判断D.Iは、△2.7ポイント低下し△10.0。来期は、△5.0ポイント低下し△15.0の見通し。
サービス業	↘	↘		業況判断D.Iは、△9.8ポイント低下し△16.2。来期は、△3.2ポイント低下し△19.4の見通し。
建設業	↗	↗		業況判断D.Iは、+5.6ポイント改善し2.8。来期は、+5.5ポイント改善し8.3の見通し。
不動産業	→	→		業況判断D.Iは、横ばいの△11.2。来期は、横ばいの△11.2の見通し。

好調← →低調　↗業況改善　↘業況悪化　→業況変化なし

■製 造 業

回答企業数72企業(回答率100%)



概況(4月▶6月期) 業況判断D.Iは△12.5、前期比+2.8ポイントの改善

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが△5.6で前期比＋8.3ポイント、収益判断D.Iが△11.2で同比＋4.1ポイントとなり、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△5.6で前期比＋5.5ポイントの改善、同収益判断D.Iが△15.3で同比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.7で前期比＋2.7ポイントの改善となり、人手不足感はやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは2.8で前期比＋1.4ポイントの低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が6.9%（前期8.3%)、「予定あり」が9.7%（同4.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は1.4%（前期1.4%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が44.4%、「売上の停滞・減少」が31.9%、「人手不足」が25.0%と上位に挙げられました。

見通し(7月▶9月期)

3ヶ月予報

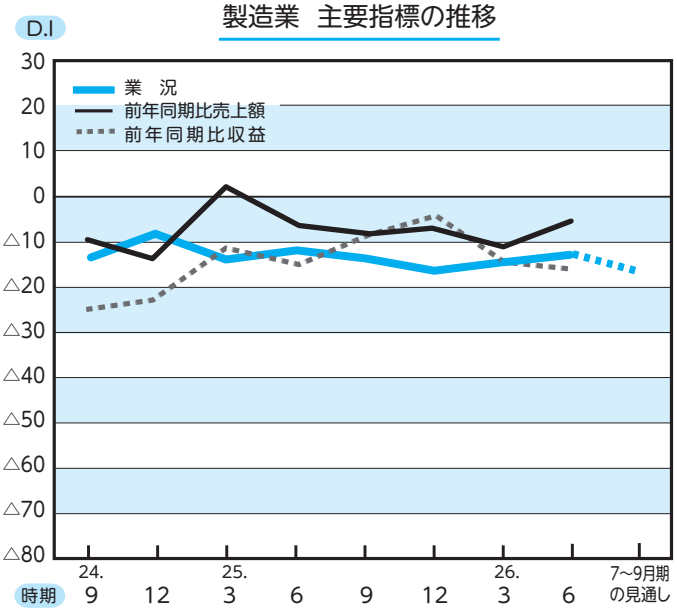
業況の見通し判断D.Iは△16.6、当期実績比△4.1ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比＋1.4ポイント、収益判断D.Iは同比＋1.5ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△7.0ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比＋4.2ポイント、残業時間判断D.Iは同比＋1.4ポイントと、ともに改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が61.1%、「販路を広げる」が48.6%、「人材を確保する」が23.6%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移

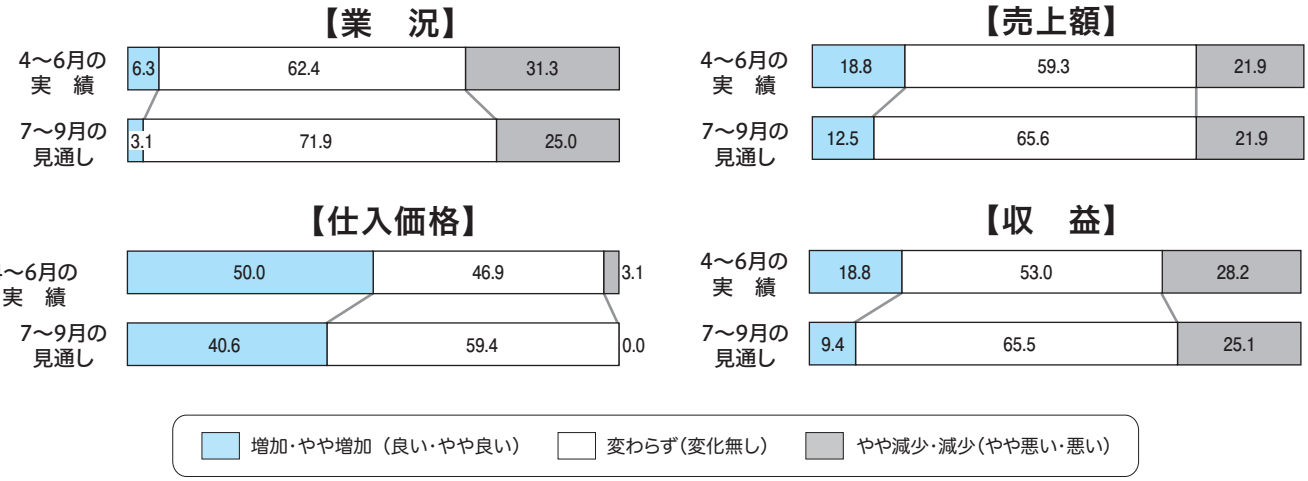


調査員のコメントから

- 自動車部品加工。新車の製造台数が減っており、例年より売上高が減少。
- コンクリート製造販売。大手ホームセンターから安定した受注を確保しているが、原材料価格高騰による収益性の悪化を懸念。

■卸 売 業

回答企業数32企業（回答率97.0%）



概況（4月▶6月期）　業況判断D.Iは△25.0、前期比△18.8ポイントの低下

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが△3.1で前期比△12.5ポイント、収益判断D.Iが△9.4で同比△15.6ポイントとなり、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△3.2で前期比△15.7ポイント、同収益判断D.Iが△15.6で同比△21.9ポイントとなり、ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.5で前期比△3.1ポイントの低下となり、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0で前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が6.3%（前期3.1%）、「予定あり」が12.5%（同6.3%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は3.1%（前期3.1%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が37.5%、「売上の停滞・減少」が28.1%、「人手不足」「利幅の縮小」が21.9%と上位に挙げられました。

見通し（7月▶9月期）

3ヶ月予報

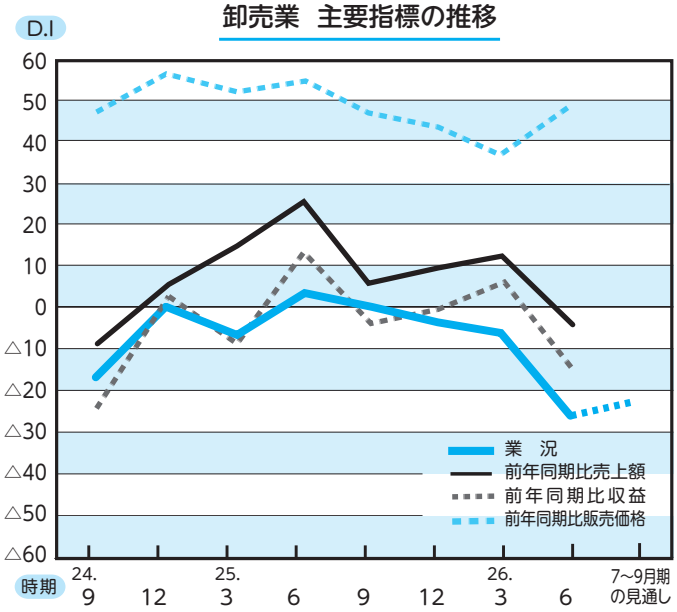
業況の見通し判断D.Iは△21.9、当期実績比＋3.1ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△6.3ポイント、収益判断D.Iが同比△6.3ポイントと、ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比＋0.1ポイントの改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iと残業時間判断D.I、ともに当期実績比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が56.3%、「販路を広げる」が46.9%、「品揃えを充実する」が18.8%と上位に挙げられました。

卸売業　主要指標の推移

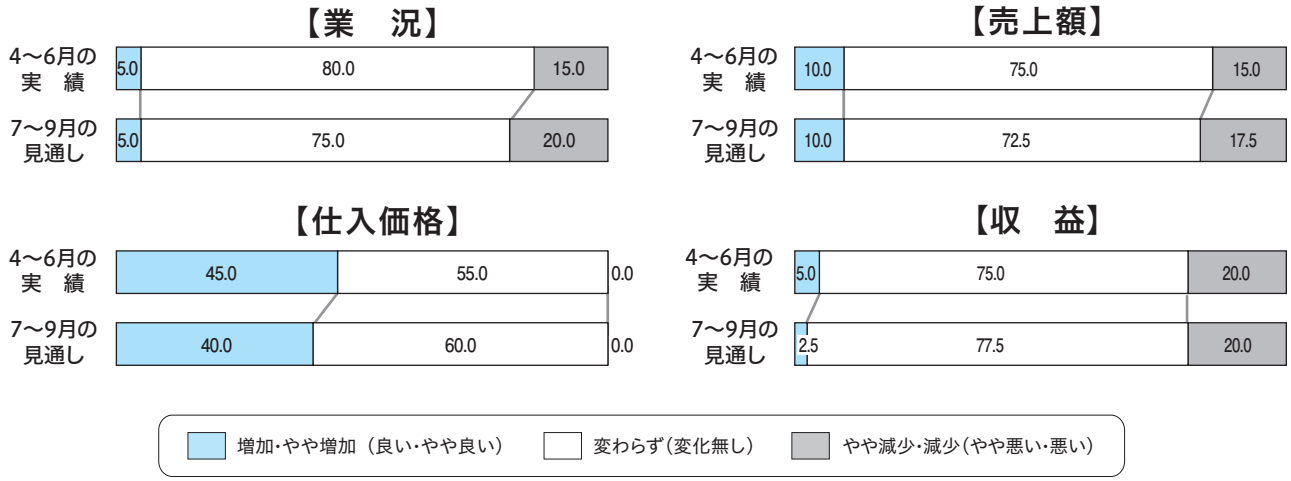


調査員のコメントから

●電気部品、工作部品卸。ナフサ不足に伴い、塗料やシンナーの価格高騰と品薄が続いており、プラモデル等の商品に影響が出ている。

■小 売 業

回答企業数40企業（回答率97.6%）



概況（4月▶6月期）　業況判断D.Iは△10.0、前期比△2.7ポイントの低下

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが△5.0で前期比△17.2ポイント、収益判断D.Iが△15.0で同比△10.1ポイントと、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが2.5で前期比△4.9ポイント、同収益判断D.Iが△17.5で同比△5.3ポイントと、ともに低下ました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△15.0で前期比＋4.5ポイントの改善となり、人手不足感が緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは0.0で前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が10.0%（前期9.8%）、「予定あり」が7.5%（同4.9%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は5.0%（前期2.0%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が32.5%、「大型店との競争激化」が27.5%、「売上の停滞・減少」が25.0%と上位に挙げられました。

見通し（7月▶9月期）

3ヶ月予報

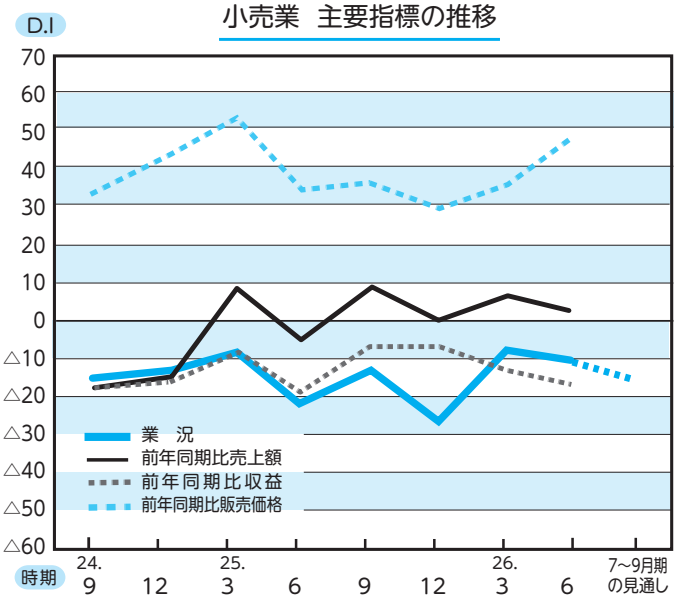
業況の見通し判断D.Iは△15.0、当期実績比△5.0ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△2.5ポイント、収益判断D.Iが同比△2.5ポイントと、ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△2.5ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比＋2.5ポイントの見通し、残業時間判断D.Iが同比△2.5ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が67.5%、「品揃えを改善する」が30.0%、「宣伝・広告の強化」が22.5%と上位に挙げられました。

小売業　主要指標の推移

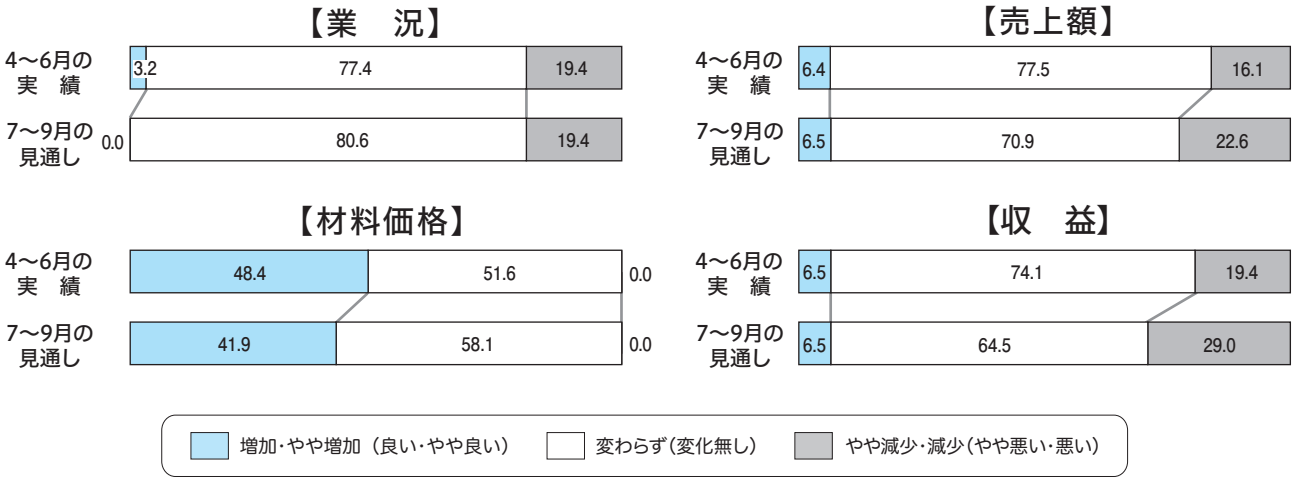


調査員のコメントから

● 燃料販売、自動車整備業。中東情勢緊迫化により影響としては、ガソリンの確保については懸念ないが、エンジンオイルの確保が難しい状況。

■ サービス業

回答企業数31企業（回答率100%）



概況（4月▶6月期）　業況判断D.Iは△16.2、前期比△9.8ポイントの低下

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが△9.7で前期比△3.3ポイント、収益判断D.Iが△12.9で同比△6.5ポイントと、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△9.7で前期比△9.7ポイント、同収益判断D.Iが△16.1で同比△3.2ポイントと、ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△25.8で前期比△3.2ポイントの低下となり、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは3.2で前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.7%（前期6.5%）、「予定あり」が3.2%（同6.5%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は0.0%（前期3.2%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が48.4%、「材料価格の上昇」が29.0%、「人手不足」が22.6%と上位に挙げられました。

見通し（7月▶9月期）

3ヶ月予報

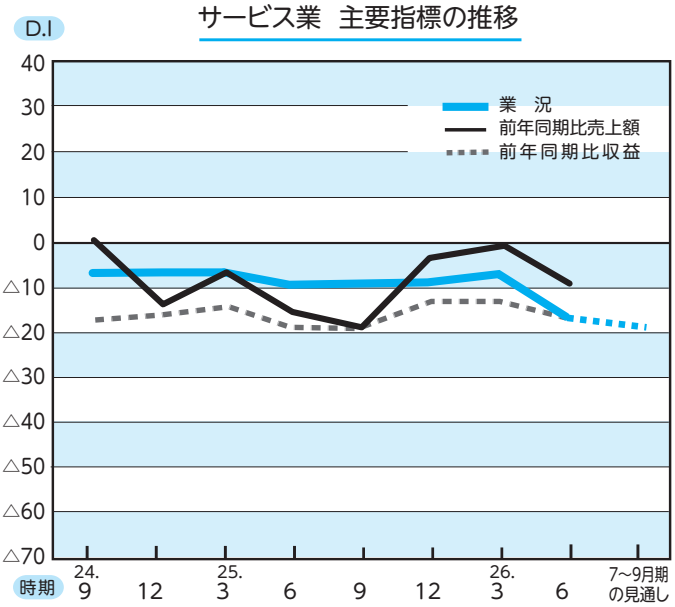
業況の見通し判断D.Iは△19.4、当期実績比△3.2ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△6.4ポイント、収益判断D.Iが同比△9.6ポイントと、ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△6.5ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比△3.2ポイント、残業時間判断D.Iが同比△3.2ポイントと、ともに低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が38.7%、「経費の節減」が32.3%、「宣伝・広告の強化」が29.0%と上位に挙げられました。

サービス業　主要指標の推移

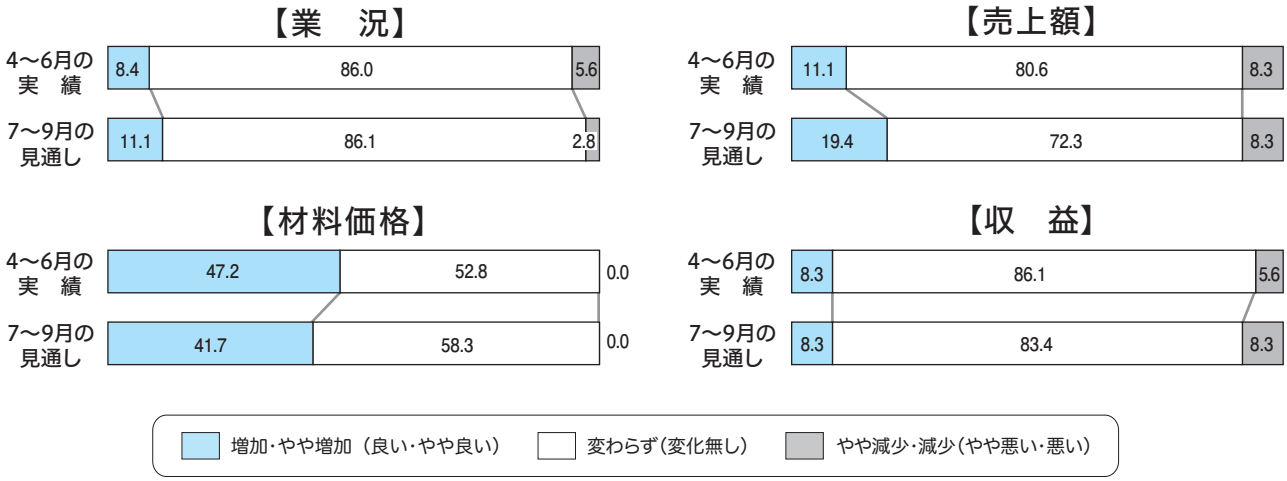


調査員のコメントから

●飲食店。材料（食料品・油等）の値上がり分を少しずつ価格に転嫁しているが、客離れの不安から思い切った値上げに踏み切れていない。

■建 設 業

回答企業36企業（回答率100%）



概況（4月▶6月期）　業況判断D.Iは2.8、前期比+5.6ポイントの改善

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが2.8で前期比△8.3ポイント、受注残判断D.Iは△2.8で同比△22.2ポイントと、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが13.8で前期比＋2.7ポイントの改善、同収益判断D.Iが△8.4で同比△5.6ポイントの低下となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.1で前期比＋11.1ポイントの改善となり、人手不足感が緩和しました。前期比残業時間D.Iは0.0で前期比△2.8ポイントの低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.7%（前期13.9%）、「予定あり」が16.7%（前期13.9%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は5.6%（前期5.6%）となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が58.3%、「同業者間の競争激化」が33.3%、「人手不足」が27.8%と上位に挙げられました。

見通し（7月▶9月期）

3ヶ月予報

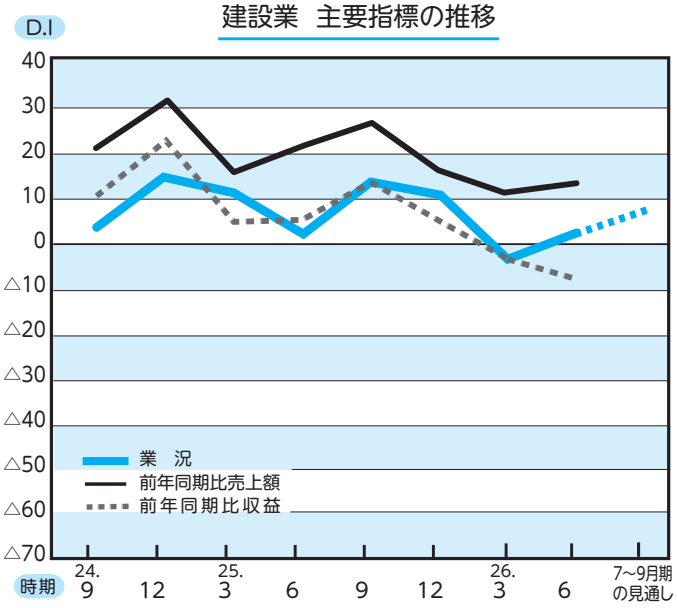
業況の見通し判断D.Iは8.3、当期実績比+5.5ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+8.3ポイント改善の見込み、収益判断D.Iが同比△2.7ポイントの低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△5.5ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比△2.8ポイント低下の見通し、残業時間判断D.Iは同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が 63.9%、「人材を確保する」が 38.9%、「販路を広げる」が27.8%と上位に挙げられました。

建設業　主要指標の推移

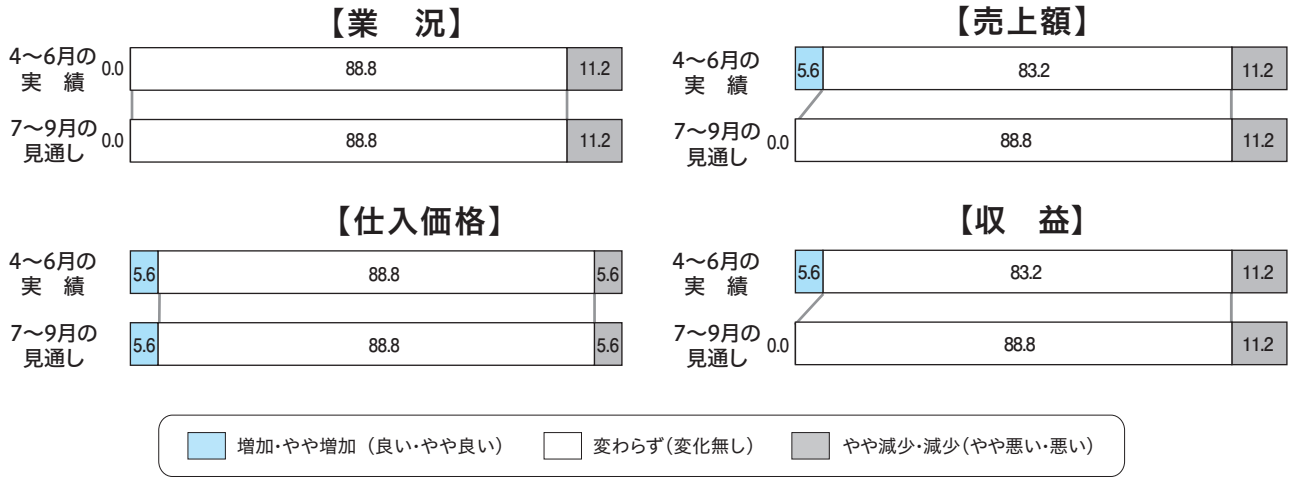


調査員のコメントから

- 見積もりの見直しが急務。適正な価格転嫁を推進するも、材料価格がそれ以上に上昇している。
- 下請業者との交渉を上手に行いたい。

■ 不動産業

回答企業数18企業（回答率100%）



概況（4月▶6月期）　業況判断D.Iは△11.2、前期比横ばい

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが△5.6で前期比＋5.6ポイント、収益判断D.Iが△5.6で前期比＋5.6ポイントと、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△5.6、同収益判断D.Iは△11.2で、ともに対前期比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△5.6で前期比＋5.5ポイントとなり、人手不足感は緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは0.0で前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が5.6%（前期11.1%）、「予定あり」が5.6%（同11.1%）を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が38.9%、「売上の停滞・減少」が33.3%、「人手不足」「商品物件の不足」「商品物件の高騰」「人件費の増加」が16.7%と上位に挙げられました。

見通し（7月▶9月期）

3ヶ月予報

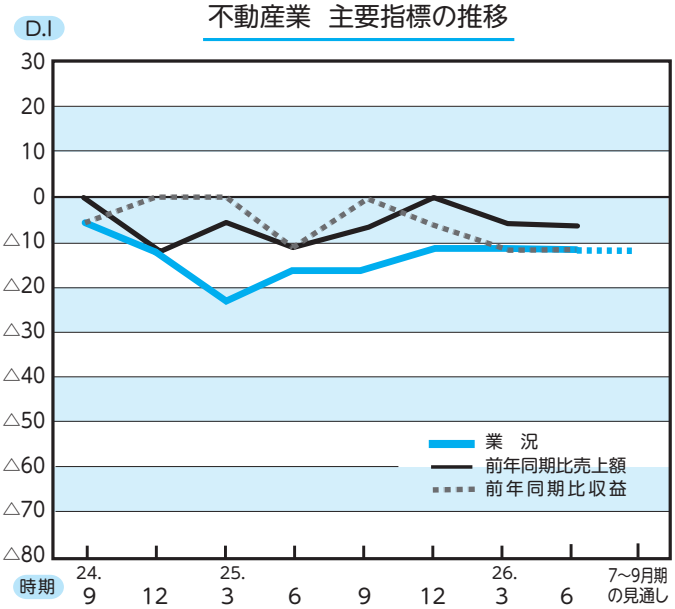
業況の見通し判断D.Iは△11.2、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△5.6ポイント、収益判断 D.Iが同比△5.6ポイントと、ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断 D.Iは当期実績比△5.6ポイント低下の見通しとなっております。

雇用面の動きでは、人手過不足判断 D.Iと残業時間判断 D.I、ともに当期実績比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が50.0%、「情報力の強化」が33.3%、「経費の節減」「宣伝・広告の強化」が27.8%と上位に挙げられました。

不動産業　主要指標の推移



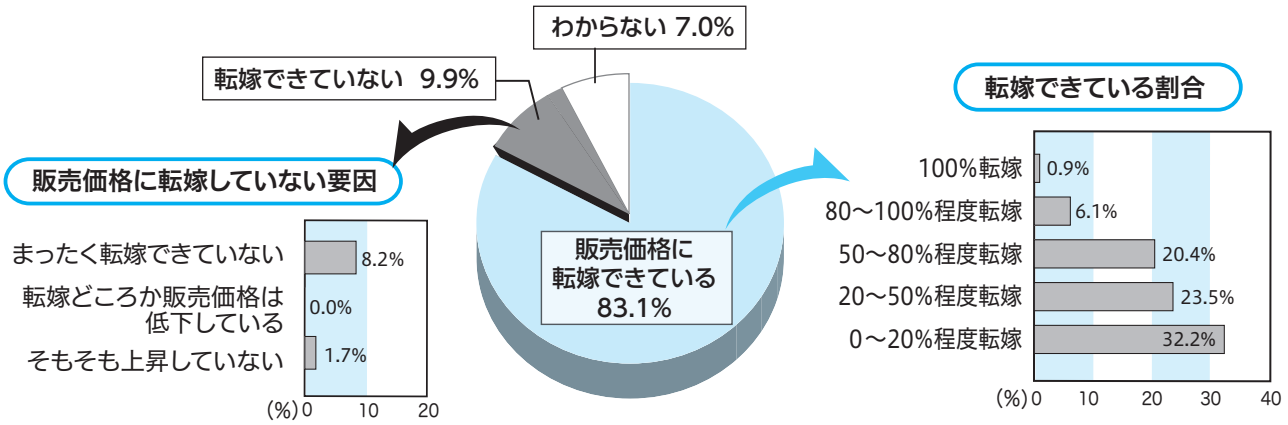
調査員のコメントから

- 販路拡大を図るため、事務所の改装等、お客様に入りやすい店舗づくりを検討中。
- 物件不足の状況が続いており、需要と供給が釣り合っていない状況。

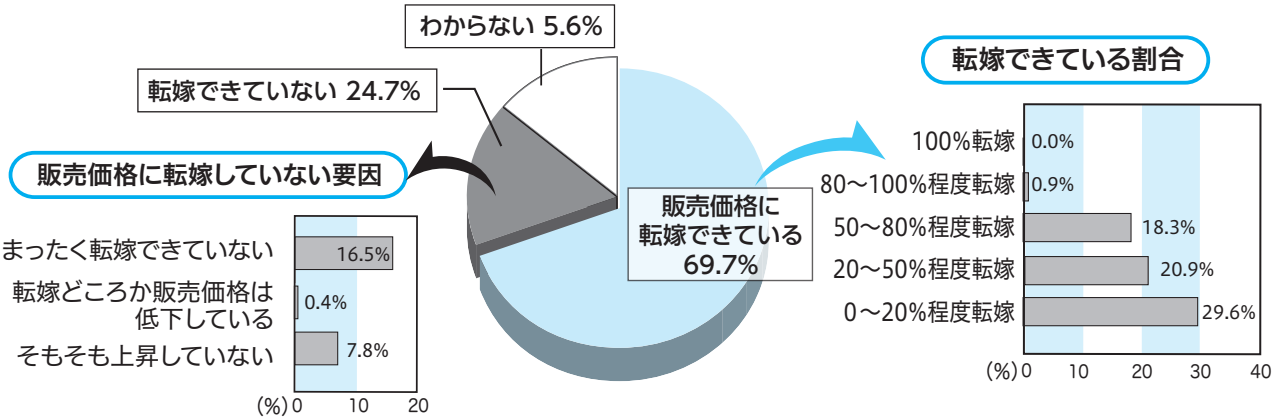
特別調査

中小企業における価格転嫁について

問1 近年、取引条件の適正化を促進する政策的な動きが活発化しています。貴社では、ここ数年（2020年ごろから）の**原材料・仕入価格の上昇分**を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。

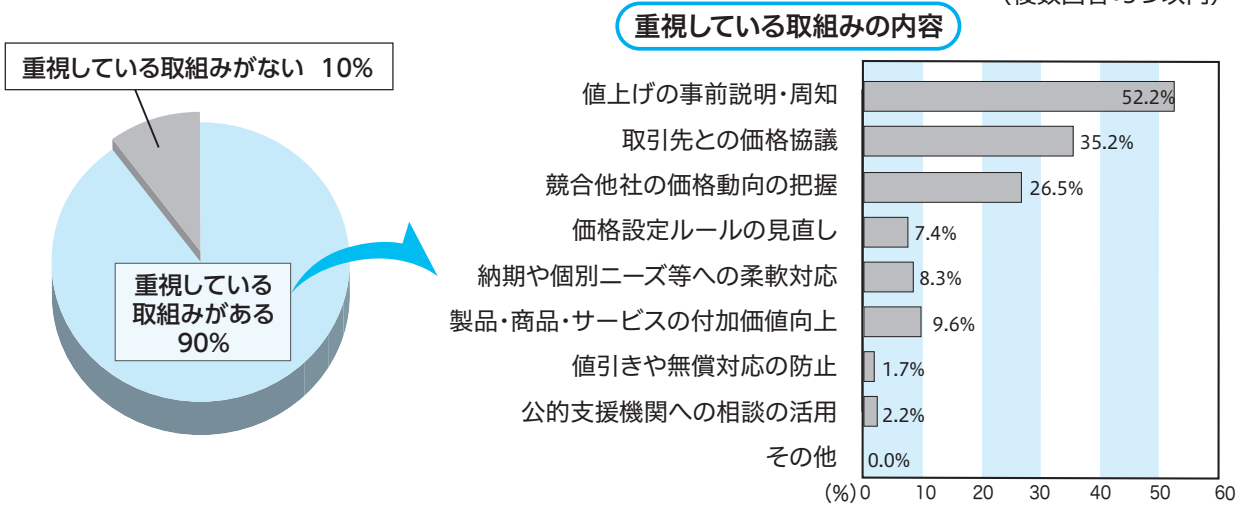


問2 ここ数年（2020年ごろから）の**労務費・人件費の上昇分**を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。



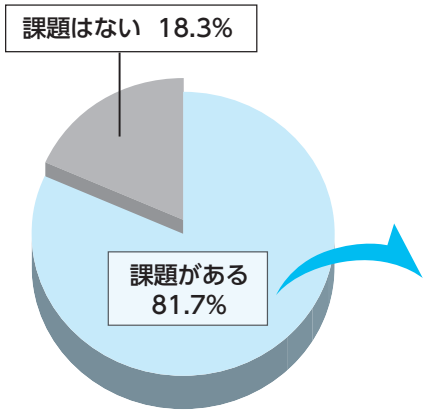
問3 貴社が取引先（販売先）との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組みは何ですか。

（複数回答：3つ以内）

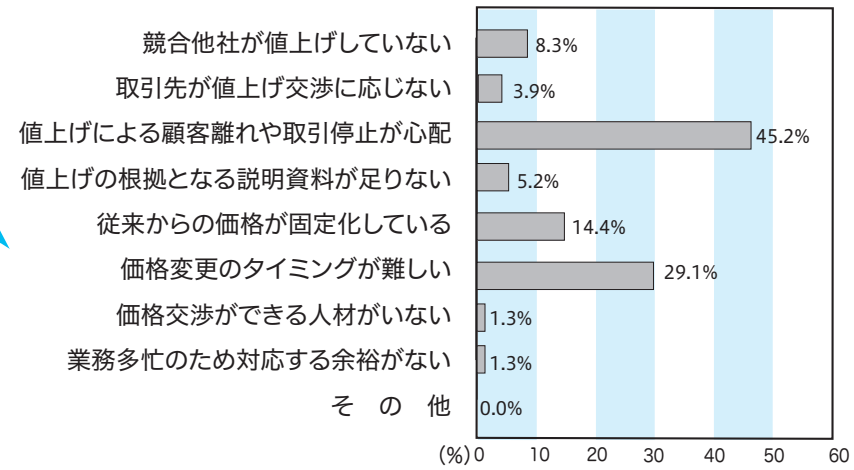


問4 貴社が価格転嫁を進める上での課題は何ですか。

（複数回答：3つ以内）

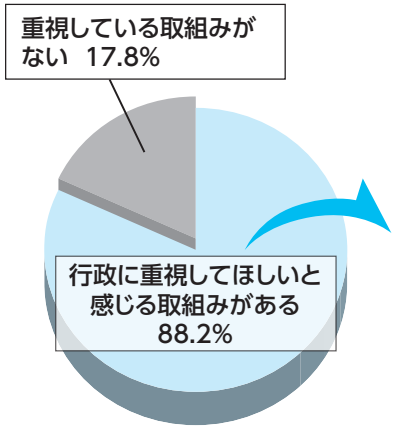


価格転嫁を進める上での課題の内容

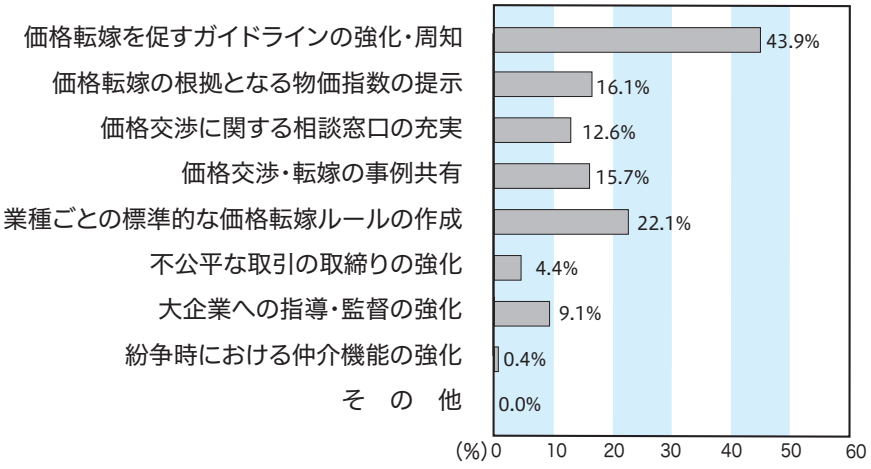


問5 今後、貴社が円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で、行政に重視してほしいと感じる取組みはありますか。

（複数回答：3つ以内）



行政に重視してほしい取組みの内容



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。

職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれの要件も満たすものとします。
①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業所（従業員数5名以上）であること。
②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

下記のローン商品の金利を店頭表示金利から

年1.50%引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

ご利用いただける方（右記の条件をすべて満たされる方）

- **契約先の代表者、役員または従業員の方**
- **申込時の年齢が20歳以上の方**
- **保証会社の保証が得られる方**

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン
ご融資金額 500万円以内
ご利用期間 10年以内

ブライダルローン
ご融資金額 500万円以内
ご利用期間 10年以内

カーライフプラン
ご融資金額 1,000万円以内
ご利用期間 15年以内

教育プラン
ご融資金額 1,000万円以内
ご利用期間 16年以内

子育て応援プラン
ご融資金額 100万円以内
ご利用期間 10年以内

リフォームプラン
ご融資金額 1,000万円以内
ご利用期間 15年以内

商品の詳しい内容に付きましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。
※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。
また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

2028年版カレンダー「ユーシンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい風景・街並み・祭りなどをテーマに写真コンテストを開催中！
応募作品の中から優秀作品を選定し、2028年のカレンダーに採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

後　記

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。
皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部
〒307-8601　結城市大字結城557番地
TEL（0296）32-2110　FAX（0296）33-0414
https://www.shinkin.co.jp/yuki/